



# 生雲っ子

令和6年度

学校だより

－第4号－



TEL 954-0109

文貴 校長 松浦 孝和



## プログラミング的思考って？



7月は、文月といわれます。七夕に想いや願いをしたためて短冊を書くことが語源のようです。子どもたちも、授業で黒板を写したり、作文や日記、お礼の手紙を書いたり、さまざまな場面で「文字」や「文章」を書いています。自分の思いや考えを相手に伝えることができる、相手の話をきちんと理解できるようになる、そんな月にして欲しいと思います。

| 考え方            | 学習の仕方                    |
|----------------|--------------------------|
| ぶんかい<br>分解     | 分けてみよう！                  |
| しゅんじょ<br>順序    | 正しい・もつといい順番に<br>ならべてみよう！ |
| ちゅうしゅうか<br>抽象化 | 大切なことを 短い言葉で<br>まとめよう！   |
| いっぱんか<br>一般化   | だれでも 分かるように しよう！         |
| デバック           | 本当にこれでいいのか 見直そう！         |
| ひょうか<br>評価     | 学習を ふりかえろう！              |

阿東中学校区では、昨年度から「プログラミング的思考」を学習場面に取り入れています。プログラミングではなく、「テキシコー」です。「分解・順序・抽象化・一般化・デバック・評価」と言われてもピンとこないと思います。「分解」は、「分けてみよう」で、長い文章や、音楽の曲など、一度に全て理解しよう、できるようになろうとすると難しく挫折してしまいます。でも、分けることによって、理解できたり、演奏できたりしていくと思います。「順序」は、お菓子

づくりや掃除の正しい順番を知ることはもちろんですが、もっと効率的な順序に気付くことも大切です。また、話し合い活動をしていると、いろいろな意見が出てきて意味が分からなくなったとき、同じようなグループでまとめて、簡単なグループの名前をつけてあげると、整理できます。これが「抽象化」です。算数で、筆算で計算したり、公式で面積を求めたり、誰でも分かるように計算できるようにすること、これが「一般化」です。「デバック」は、これでよいか、できるか、動作確認。「評価」は、自分の取り組みや考えたことを振り返るということです。

上に書いたのはほんの一例で、学習や生活場面において、子どもたちが考えていく手段として、自然に「プログラミング的思考」を使っていけるようになるとよいなと思っています。大人も、分からない時や困った時に使ってみると、考えが整理できたり、できなかったことができるようになったり役にたつと思います。

<学校に関わってくださる多くの皆様、いつもご支援・ご協力ありがとうございます>

6月2日(日)

6月7日(金)

6月11日(火)

6月24日(月)



生雲ふれあいフェスタ



長門峡スカッチ大会



桜郷鉦山(総合学習)



お菓子作り(クラブ)

<学校情報を随時更新していきます>

小規模校の特性を生かし、一人ひとりの子どもたちを大切にしたい学校運営を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

【生雲小学校 HPアドレス】 <https://fa.fureai-cloud.jp/ikumo-e/>

